

プレスリリース

2024年9月25日
株式会社クラシコム**クラシコム、経営体制強化をめざして
取締役CTOに倉貫義人氏、社外取締役に和田洋一氏が就任へ**

ライフカルチャープラットフォーム「[北欧、暮らしの道具店](#)」において、雑貨や衣類などの開発・販売、メディア運営などを行う株式会社クラシコム（本社：東京都国立市、代表取締役社長：青木耕平、以下「当社」）は、経営体制の強化を目指し、社外取締役であった倉貫義人氏が取締役CTOに、新たな社外取締役として和田洋一氏を選任候補者として株主総会に諮ることが2024年9月25日開催の取締役会において決議されましたのでお知らせいたします。

なお、本取締役候補者につきましては、2024年10月29日開催予定の定時株主総会の決議を受けて、正式に選任される運びとなります。

背景：さらなる挑戦を支える経営体制強化へ

当社は2007年に、ECサイト構築ASPを利用して「北欧、暮らしの道具店」を開店しました。その後、顧客への提供価値をさらに向上させるため、2016年4月にECシステムを自社開発へと移行しました。この変化に伴い、エンジニアの採用を強化し、2018年には株式会社ソニックガーデンの代表としてエンジニアの組織開発に実績を持つ倉貫義人氏を社外取締役として迎え入れました。

その後、2019年に公開した「北欧、暮らしの道具店」のスマートフォンアプリは380万ダウンロードを突破し、2024年7月期には当社グループの年間売上は70億円を超える規模に成長しました。このような成長に伴い、効率性やセキュリティの重要性も増す中で、倉貫氏が社外取締役から取締役CTOに就任し、現場に密接に関わりながらエンジニア組織を執行責任者として統括することで、システム開発体制のさらなる安定化を図ります。

加えて、株式会社スクウェア・エニックスの元社長であり、エンターテインメントビジネス・金融・グローバル展開、そしてIR体制における広視野な知見を持った和田洋一氏を社外取締役として迎えることにより、新たな挑戦を続ける当社のさらなる経営体制の強化をめざします。

新任役員紹介

取締役CTO 倉貫義人



大手SIer入社後、社内ベンチャーを立ち上げる。2011年にMBOを行い、株式会社ソニックガーデン設立、代表取締役に就任。月額定額&成果契約で顧問サービスを提供する「納品のない受託開発」を展開。全社員リモートワーク、オフィスの撤廃、管理のない会社経営など新しい取り組みも行っている。2018年7月より当社社外取締役を務める。

□コメント

この度、社外取締役（監査等委員）から取締役CTOとして執行に携わることとなりました。当社の強みをさらに引き出すためには、テクノロジーの活用が不可欠です。これまで培った経験を最大限に活かし、持続可能な事業成長を支えるシステムの開発・運用に注力するとともに、さらなるデジタル化を推進してまいります。

企業価値の向上に貢献し、株主・投資家の皆様をはじめ、すべてのステークホルダーの皆様のご期待に応えられるよう、尽力いたします。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

社外取締役（監査等委員）和田洋一



1984年野村証券株式会社入社。2000年に株式会社スクウェアに移籍し社長就任。2003年エニックスと合併し、株式会社スクウェア・エニックスを発足させる。同社CEO、コンピュータエンタテインメント協会会長、経団連著作権部会長等を歴任し、ゲーム産業のネットワーク化、グローバル化に寄与。2016年以降は、ゲーム業界に関わらず若手経営者の支援に注力し、社外取締役、アドバイザー等を務める。

□コメント

この度、社外取締役に就任させていただくことになりました。

当社の、“フィットする暮らしを模索することで、心地よい社会を実現する一助になりたい”との理念に賛同するとともに、その理念を遂行する活動の在り方にも深く共感していたために、心からお役に立ちたいと思っています。

理念を追求していく過程そのものが企業であり、その過程においてステークホルダー各々の志向に反したり、ステークホルダー間にコンフリクトを発生させないように、矛盾なく進んでいけるよう取り計らうことがコーポレートガバナンスだと考えています。

共に歩めることを非常に楽しみにしております。



後列左：取締役 CTO 倉貫義人 中央：社外取締役 和田洋一 右 取締役 CFO 山口揚平
前列左：代表取締役社長 青木耕平 右：取締役副社長 佐藤友子

主要サービス「北欧、暮らしの道具店」とは

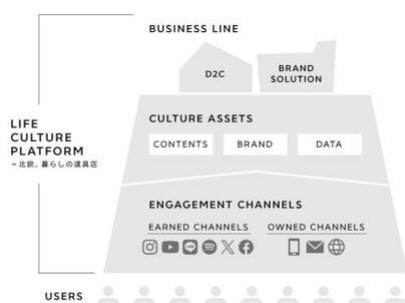


公式サイト：<https://hokuohkurashi.com/>

「北欧、暮らしの道具店」は「フィットする暮らし、つくろう。」をテーマに雑貨・アパレル等を販売しながら、暮らしに纏わる様々なコンテンツをお届けするライフカルチャープラットフォームです。

2007年にビンテージの北欧食器専門ECサイトとして始まり、現在は日本を含む世界中の商品を取り扱いながら、オリジナル商品を企画・販売しています。

レシピ・コラム・インタビュー記事、ポッドキャスト、ドキュメンタリー、そして2021年に映画化された『青葉家のテーブル』をはじめとするオリジナルドラマなど、様々なコンテンツを744万超のエンゲージメントアカウント（公式スマホアプリやSNSのフォロワー）を通して発信することで、顧客との強い結びつきを作り出しています。



ライフカルチャープラットフォーム構成図。顧客と世界観（ライフカルチャー）でつながるプラットフォーム。



「北欧、暮らしの道具店」イメージ図。独自の世界観を体験できるリゾートパークのようなプラットフォームへ。

■会社概要

社名：株式会社クラシコム

英文表記：Kurashicom Inc.

本社：東京都国立市中 1-1-52 nonowa 国立 SOUTH 3F

設立：2006年9月

代表者：代表取締役社長 青木耕平

従業員数：98名（パート・アルバイト4名含む 2024年7月末現在）

事業内容：ライフカルチャープラットフォーム事業（EC運営、メディア運営コンテンツ開発、広告企画販売、雑貨・アパレル企画販売）

URL：<https://kurashi.com/>

2022年8月5日に東京証券取引所グロース市場への新規上場（証券コード：7110）

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

株式会社 クラシコム 広報担当:馬居

umai@kurashicom.jp

お問い合わせは[こちら](#)からお送りください